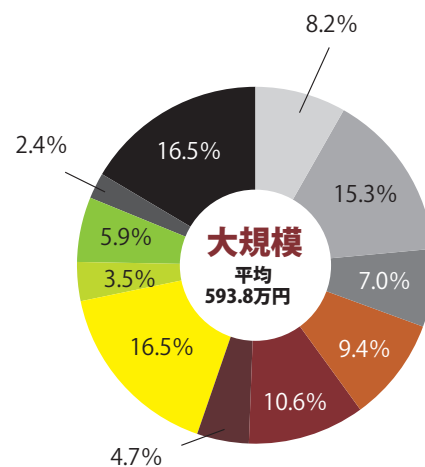
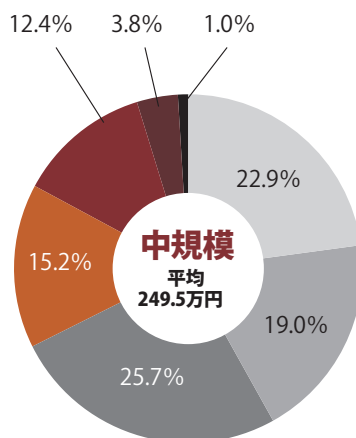
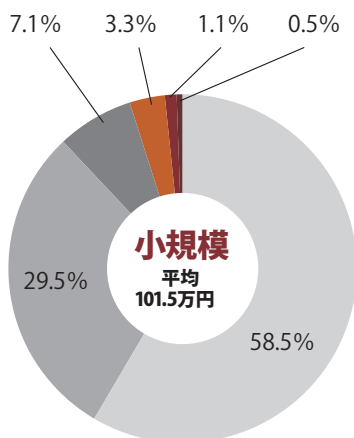
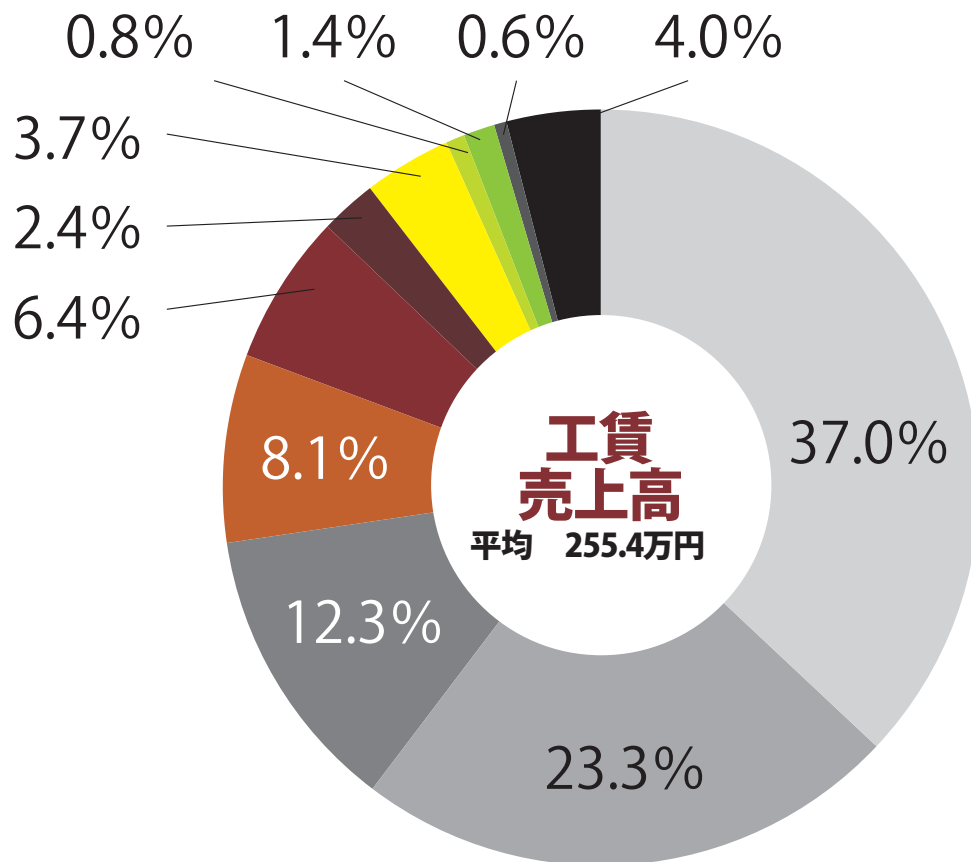


月間の钣金塗装売上高の平均額は485.2万円だった。月間200万円未満が41.8%で最も多く、対して最高額は1億1,275万円で、全体の12.3%が月間1,000万円以上を売り上げていた。大

規模工場では2,000万円以上の売上高が13.0%を占め、平均売上高を押し上げる要因となった。

工賃売上高の平均は255.4万円だった。工場によっては、部品売り上げを

計上せず、钣金塗装売上高=工賃売上高とする回答も一部で見られたが、今回のアンケートにおける钣金塗装売上高に占める工賃売上高の比率は約53%だった。



鍛金技術者、塗装技術者、フロント・営業担当ごとに、新人と経験3年以上の従業員に分けて年収をたずねた。

特徴的なのは、新人ではどの職種においても大きな差は生じなかったが、

経験者になると二極化が進むということである。鍛金・塗装技術者ともに経験3年を超えると1割以上が年収500万円以上と答えているが、年収200万円以下の層も少なからず散見され

る。フロント・営業担当に関しては、10.7%が年収200万円未満だった。

その背景としては、シニア層が週2・3日勤務したり、子育て世代の時短勤務といった事例が考えられる。

